




惑わされないうために


「唯心論(Spiritualism)では、人間は神的性格をもった墮落しない存在で、「自分の心をさばくものは自分の心である。」「人は真の知識をもつとき一切の律法に超越する。」「罪を犯しても罪とはならない」と主張される。なぜなら「すべて有るものは正しい」からであり、また「神は罪を定めない」からであるというのである。どんな下等な人間も天国に行って高い地位を与えられると説かれている。こうして、その教えはすべての人に向かって「どんなことをしてもかまわない。あなたがたの好きなように暮らさなさい。天国はあなたがたの家郷だ」と宣言する。多くの人々は、こうして、欲望こそ最高の律法であり、放逸こそ自由であり、人は自分自身にだけ責任があると信じるようになる」。教育269



大争鬪下313。「心霊術はたしかに今ではその外形を  
変え、不都合な点を隠して、**キリスト教の装いをとっ  
ている**」

黙示録3:13 また、**大いなるしるし**を行って、人々の前で**火を天から地に降らせる**ことさえした。

13:14 さらに、先の獣の前で行うのを許されたしるしで、**地に住む人々を惑わし**、かつ、つるぎの傷を受けてもなお生きている先の獣の像を造ることを、地に住む人々に命じた。



エゼキエル33:31、32 「彼らは民が来るようにあなたの所に来、わたしの民のようにあなたの前に座して、あなたの言葉を聞く。しかし彼らはそれを行わない。彼等は口先では多くの愛を現すが、**その心は利におもむいている**。見よ、あなたは彼らには、美しい声で愛の歌をうたう者のように、また**楽器をよく奏する者**のように思われる。彼らはあなたの言葉は聞くが、それを行おうとはしない」。


2テサロニケ2:9-12「しかし、驚くには及ばない。サタンも光の天使に擬装するのだから。

大争闘下399 圧倒的な惑わし

イザヤ8:20 「ただおきてとあかしに求めよ。彼らの言うところこの言葉にかなっていないければ、彼らのうちに光りがない」 欽定訳

「聖書の真理によって心を堅固にした人たち以外には、だれも最後の争闘に耐え抜くことができない」 大争闘下359





2テサロニケ2:9-12「不法の者が来るのは、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力と、しるしと、不思議と、また、あらゆる不義の惑わしとを、滅ぶべき者どもに対して行うためである。彼らが滅びるのは、自分らの救となるべき真理に対する愛を受けいれなかった報いである。そこで神は、彼らが偽りを信じるように、迷わす力を送り、こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばくのである。

## 識別力 1 テサロニケ5:17-23

- ・ 絶えず祈りなさい。
  - ・ 御霊を消してはいけない。
  - ・ 預言を軽んじてはならない。
  - ・ **すべてのものを識別して**、良いものを守り、
  - ・ あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい。
  - ・ どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるように。
- また、あなたがたの霊と心とからだとを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるよう
- に。